

Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいるのために……

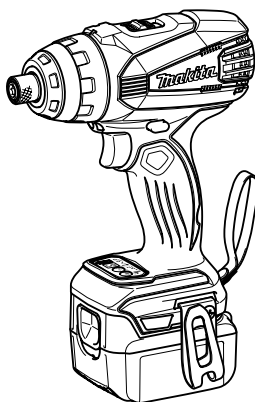
取扱説明書

充電式 4 モード インパクトドライバ

無段変速・正逆転両用・ブレーキ付

モデル TP131D

モデル TP141D



このたびは**充電式 4 モード インパクトドライバ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 充電工具共通の安全上のご注意	6
・ 充電式 4 モードインパクトドライバ安全上のご注意	11
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	19
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	19
・ バッテリー保護機能	19
・ バッテリーについて	20
・ バッテリーの充電方法	20
・ 充電完了メロディーの切り替え方法	21
・ 充電表示ライトについて	22
・ 冷却システムについて	23
・ オートメンテナンス機能について	24
・ バッテリーを長持ちさせるには	24
・ バッテリーの回収について	24
・ 充電器の点検・修理・保管について	24
・ ビットの取り付け・取りはずし方	25
・ フックの取り付け・取りはずし方	26
・ スイッチの操作	26
・ ライトの点灯	27
・ 正逆転切り替えレバーの操作	28
・ スピードの切り替え操作	29
・ モード切り替えリングの操作	30
・ 締め付けカ切り替え操作（ネジ締めモードのみ）	32
・ 打撃力切り替え機能（インパクトモード時のみ）	33
・ バッテリー切れお知らせ表示	34
・ インパクトドライバとして使用する場合	35
・ ネジの締め付け	35
・ ボルトの締め付け	35
・ ドライバ（ネジ締めモード）として使用する場合	38
・ ネジの締め付け	38
・ 締め付けトルク選定の目安	39
・ ドリルとして使用する場合	40
・ 穴あけ	40
・ 震動ドリルとして使用する場合	41
・ 1 回の充電での作業量	42
・ 保守・点検について	44
・ 本機のお手入れ	44
・ ご修理の際は	44

主要機能

主要機能		モデル	TP131D	TP141D	
電動機			DC ブラシレスモータ		
バッテリー			リチウムイオンバッテリー		
			バッテリー BL1430 (容量 3.0 Ah) バッテリー BL1440 (容量 4.0 Ah) バッテリー BL1450 (容量 5.0 Ah)	バッテリー BL1830 (容量 3.0 Ah) バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah) バッテリー BL1850 (容量 5.0 Ah)	
電圧			直流 14.4 V	直流 18 V	
インパクト モード	回転数	打撃力 強	0 ~ 2,800 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 2,700 min ⁻¹ (回転/分)	
		打撃力 中	0 ~ 2,200 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 2,200 min ⁻¹ (回転/分)	
		打撃力 弱	0 ~ 1,400 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 1,300 min ⁻¹ (回転/分)	
	打撃数	打撃力 強	0 ~ 3,200 min ⁻¹ (回/分)		
		打撃力 中	0 ~ 2,400 min ⁻¹ (回/分)		
		打撃力 弱	0 ~ 1,200 min ⁻¹ (回/分)		
	締め付けトルク		最大 145 N・m (1,480 kgf・cm) M14 (強度区分: 10.9) 高力ボルト 3 秒締め付時	最大 150 N・m (1,530 kgf・cm) M14 (強度区分: 10.9) 高力ボルト 3 秒締め付時	
	締め付け能力		小ネジ: M4 ~ M8 普通ボルト: M5 ~ M14 高力ボルト: M5 ~ M12 コーススレッド: 22 ~ 125 mm		
	震動ドリル モード	回転数	高速	0 ~ 2,800 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 2,700 min ⁻¹ (回転/分)
			低速	0 ~ 700 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 700 min ⁻¹ (回転/分)
打撃数		高速	0 ~ 32,400 min ⁻¹ (回/分)		
		低速	0 ~ 8,400 min ⁻¹ (回/分)		
穴あけ能力		コンクリート Φ8			

主要機能

主要機能		モデル	TP131D	TP141D
ドリルモード	回転数	高速	0 ~ 2,800 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 2,700 min ⁻¹ (回転/分)
		低速	0 ~ 700 min ⁻¹ (回転/分)	0 ~ 700 min ⁻¹ (回転/分)
	穴あけ能力	高速	鉄工 φ6.5 木工 φ12	
		低速	鉄工 φ10 木工 φ21	
ネジ締めモード	回転数	高速	0 ~ 1,100 min ⁻¹ (回転/分) 設定数値により変化します。	
			0 ~ 2,300 min ⁻¹ (回転/分) プラス (P) モード時	
		低速	0 ~ 300 min ⁻¹ (回転/分) 設定数値により変化します。	
			0 ~ 600 min ⁻¹ (回転/分) プラス (P) モード時	
	ネジ締め能力	高速	小ネジ M3.5 ~ M6 テクス用ネジ 4 mm (最大板厚 3.2 mm) (プラス (P) モード時)	
		低速	小ネジ M4 ~ M6 テクス用ネジ 4 mm、5 mm (プラス (P) モード時)	
本機寸法		長さ 171 mm × 幅 79 mm × 高さ 250 mm		
質量		1.6 kg		1.7 kg

急速充電器	DC18RC
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50 - 60 Hz
入力容量	410 VA
出力電圧	直流 7.2 - 18 V
出力電流	直流 9 A

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告**・**⚠ 注意**・**注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意**・**注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電工具共通の安全上のご注意

JPA002-43

⚠ 警告

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
 - ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーバック式）電動工具を示します。
- a) 作業環境
1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
 2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
 3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- b) 電気に関する安全事項
1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
 2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
 3. 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。
 4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
 5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業

⚠ 警告

4. **使用しない充電工具は、きちんと保管してください。**
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した鍵のかかる所に保管してください。
 5. **充電工具の保守点検をしてください。**
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 6. **先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。**
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
 7. **充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。**
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
 8. **極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。**
- e) **充電工具の使用と手入れ**
1. **バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。**
 - ・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
 2. **バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。**
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
 3. **マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。**
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
 4. **バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。**
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
 5. **高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。**
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠ 警告

f) 整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
5. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
6. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
13. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
14. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
15. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
16. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式 4 モードインパクトドライバ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式 4 モードインパクトドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB171-4

⚠ 警告

1. 耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音にさらされ難聴の原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。また、補助ハンドルが付属されている場合は補助ハンドルを使用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、キリやビットなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注意

1. 工具類（キリやビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後のキリやビットや切りクズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
 - ・ 飛散して、けがの恐れがあります。

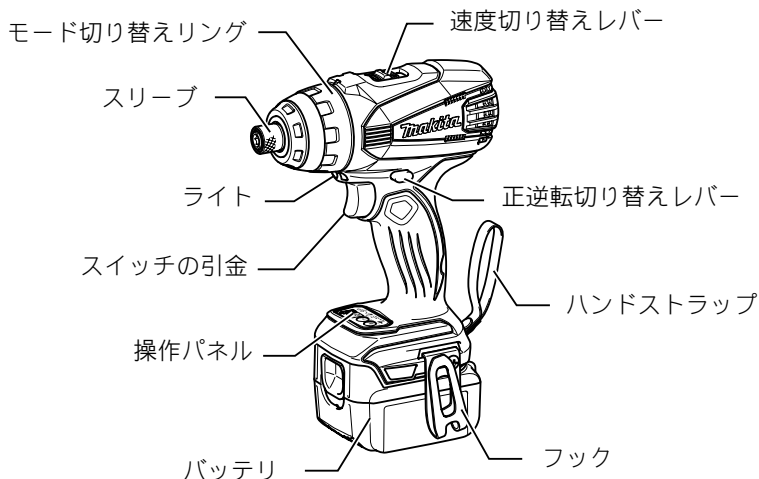
注

- ・ ネジに合った純正ビットをご使用ください。
- ・ ネジの適正締め付け力はネジの材質、サイズ、締め付ける材料などによって異なりますのでネジに合った締め付け時間で作業してください。
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm ²	30 m

各部の名称および標準付属品



イラストはモデル TP131D

製品の組み合わせ及び標準付属品

モデル 標準付属品	TP131DZ	TP141DZ	TP131DRFX	TP141DRFX	TP131DRMX	TP141DRMX	TP131DRTX	TP141DRTX
バッテリー	×		○ BL1430 2 個	○ BL1830 2 個	○ BL1440 2 個	○ BL1840 2 個	○ BL1450 2 個	○ BL1850 2 個
充電器 (充電時間)	×		○ DC18RC (約 22 分)		○ DC18RC (約 36 分)		○ DC18RC (約 45 分)	
⊕ビット 2-65	○				○			
フック	○				○			
ハンドストラップ	○				○			
バッテリーカバー	×				○ 2 個			
プラスチックケース	×				○			

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店または当社営業所へお問い合わせください。

⊕ビット (マグネット付)

※ No.0 ビットはネジ締めモードのみでご使用下さい。

名称	先端形状	長さ (mm)	梱包数	部品番号
スリムタフビット	⊕No.0	85	3	A-52875
	⊕No.1	65	3	A-52881
		110	3	A-52897
	⊕No.2	65	3	A-50924
			6	A-50930
			10	A-50946
		85	3	A-50952
			6	A-50968
			10	A-50974
		110	3	A-50980
			6	A-50996
	トーシヨ ン タフビット	⊕No.2 ■No.3	65	3
85			3	A-50712
110			3	A-50631
⊕No.2		65	3	A-49563
			6	A-49579
			10	A-49806
		85	3	A-49585
			6	A-49591
			10	A-49828
		110	3	A-49600
6			A-49616	
⊕No.3		150	3	A-50120
		65	3	A-52906
		110	3	A-52912

別販売品の使い方

⊕ビット

名称	長さ (mm)	梱包数	部品番号
No.2	45	10	A-06507
	45 (ハードタイプ)	10	A-10540
	65	10	A-06535
	65 (ハードタイプ)	10	A-10556
	110	10	A-06557
	150	10	A-06579
No.3	45	10	A-06513
	65	1	A-44161
	110	1	A-44177

四角穴付コーススレッド (No.2)

径×長さ (mm)	部品番号	入数	ネジタイプ
3.8 × 25	A-35019	2,000	全ネジ
3.8 × 28	A-35025	1,900	
3.8 × 32	A-35031	1,800	
3.8 × 38	A-35047	1,500	
3.8 × 41	A-35053	1,400	
3.8 × 45	A-35069	1,100	
3.8 × 51	A-35075	1,000	
3.8 × 51	A-36463	1,000	半ネジ
3.8 × 57	A-35081	900	
4.2 × 65	A-35097	500	
4.2 × 75	A-35106	400	
4.5 × 90	A-35112	200	
4.5 × 100	A-35128	160	
4.8 × 120	A-35134	150	

別販売品のご紹介

四角穴付内装ビス

径×長さ (mm)	部品番号	入数	ネジタイプ
4.2 × 50	A-35776	1,000	半ネジ
4.2 × 65	A-35798	700	
4.2 × 75	A-35807	600	
4.5 × 90	A-35813	350	

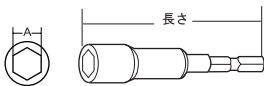
四角ビット (マグネット付)

先端形状	長さ (mm)	梱包数	部品番号
No.2	65	5	A-35140
	110	5	A-35156
	150	5	A-36304
No.3	65	1	A-34291
	110	1	A-34300

四角⊕両頭ビット (5本組)

先端形状	長さ (mm)	部品番号
No.2	65	A-37443
	110	A-37459
	150	A-37465

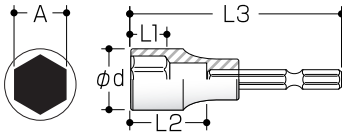
ロング六角ソケット



A	長さ	部品番号
12	110	A-06585
13		A-06959
14		A-06965
17		A-06591
19		A-06600
21		A-06616
21	140	A-08589
17	110	A-10512 (ハードタイプ)
19		A-10528 (ハードタイプ)
21		A-10534 (ハードタイプ)

別販売品のご紹介

タフソケットビット



サイズ (mm)						部品番号
適用ボルト	A	φd	L1	L2	L3	
M3	5.5	9	3.5	20	60	A-51851
M4	7	13.5	6.5	22	61	A-51867
M5	8	13.5	6.5	22	61	A-51873
M6	10	16	6.5	22	61	A-51895
M8	12	18	8	22	61	A-51904
	13	19	8	22	61	A-51910
	14	20	8	22	61	A-51926
M10	17	23	9	22	61	A-51932
M6 (ヘクス)	9.6	15	6.5	22	61	A-51889

別販売品のご紹介

ショートビット (型枠用木工キリ)

径 (mm)	部品番号
9	A-07755
10.5	A-07761
12	A-07777
15	A-07783

超硬ドリル

径 (mm)	有効長 (mm)	部品番号	径 (mm)	有効長 (mm)	部品番号
3.0	45	A-47058	4.5	50	A-47117
3.2		A-47064	4.8		A-47123
3.4		A-47070	5.0		A-47139
3.5		A-47086	6.0	55	A-47145
4.0	50	A-47092	6.4		A-47151
4.3		A-47101	8.0	70	A-47167

- ・ 四角ビットセット品
部品番号 A-36310
- ・ ビットピース
部品番号 A-44672
- ・ ハイブリッドチャック
部品番号 A-15562
- ・ バッテリー BL1430 (容量 3.0 Ah)
(モデル TP131D)
部品番号 A-42634
- ・ バッテリー BL1440 (容量 4.0 Ah)
(モデル TP131D)
部品番号 A-56574
- ・ バッテリー BL1450 (容量 5.0 Ah)
(モデル TP131D)
部品番号 A-59259
- ・ バッテリー BL1830 (容量 3.0 Ah)
(モデル TP141D)
部品番号 A-47896
- ・ バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah)
(モデル TP141D)
部品番号 A-56596
- ・ バッテリー BL1850 (容量 5.0 Ah)
(モデル TP141D)
部品番号 A-57196

使い方

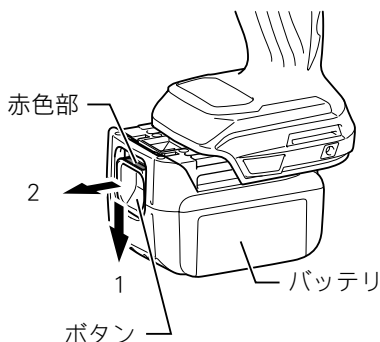
⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

バッテリーの取り付け・取りはずし方

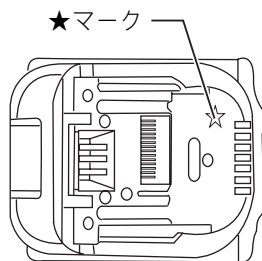
- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



バッテリー保護機能

(★マーク付きバッテリーを使用する場合)
バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチをはなし、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーをとりはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときは本機よりバッテリーをとりはずし、バッテリーを充電してください。



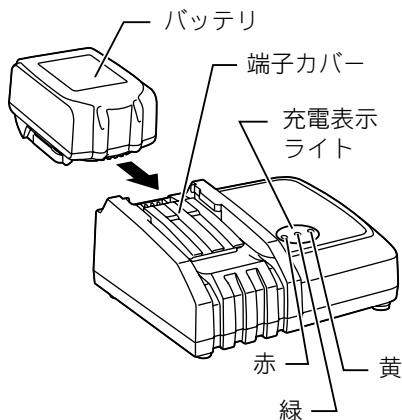
使い方

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリーの充電方法

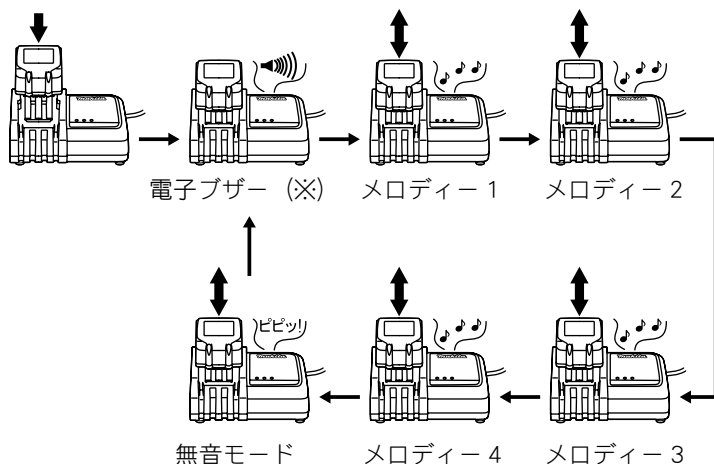
1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。充電時間は周囲温度 (10℃～40℃) やバッテリーの状態 (新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど) により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は、約 1 時間です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



使い方

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定 (※) されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ!」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません (無音モード)。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。


















※ 出荷時は電子ブザーに設定されています。




使い方

充電表示ライトについて







充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
  		充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
  		冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
  		充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
  		充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
  		充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

  		オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
---	--	--

(異常時のライト表示および表示内容)

  		充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
  		冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- ・ DC18RC はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されずと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- ・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない。）

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

使い方

オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1～4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です)

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

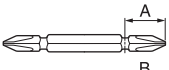
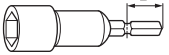
ビットの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

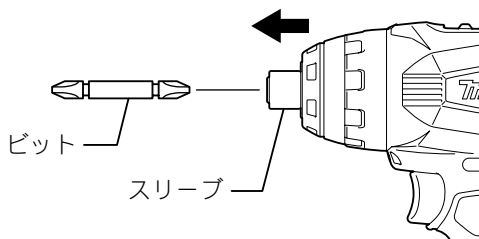
ビットや付属品等の取り付け・取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

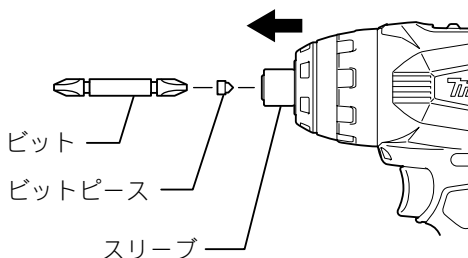
- ・ ビット・ソケットは下記のものをご使用ください。それ以外は、使用しないでください。

	A = 17 mm B = 14 mm	ビットピース (別販売) は不要です。 (※純正品は全てこのサイズです。)
	A = 12 mm B = 9 mm	ビットピース (別販売) が必要です。 (市販品)

- ・ ビットの取り付けは、スリーブを矢印方向に引きビットを差し込み、スリーブを離してください。



- ・ ビットピースを使用する場合は、スリーブを矢印方向に引きビットピース・ビットの順に差し込み、スリーブを離してください。



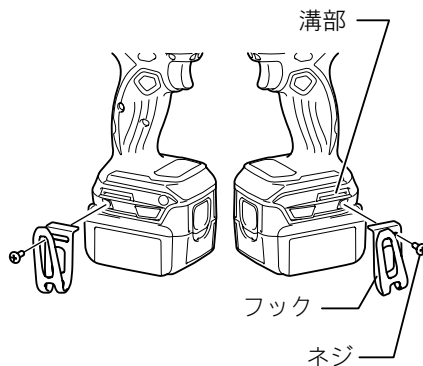
注

- ・ ビットは奥までしっかり差し込んでください。不十分ですとスリーブが元の位置に戻らず、ビットの固定ができません。
- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。
- ・ 使用直後のキリやドリルは大変熱くなっていますので、触れないでください。十分に時間を置いて、冷やしてから交換をしてください。

使い方

フックの取り付け・取りはずし方

- ・ 取り付けるときは、本機の溝部にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取り付け可能です。
- ・ 取りはずすときは、ネジをゆるめてからフックをはずします。



注

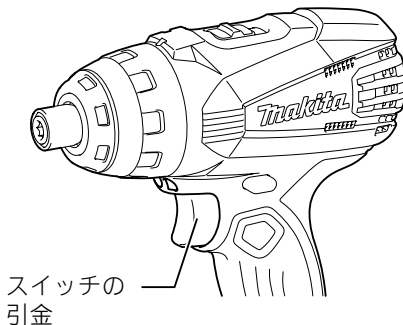
- ・ フックを取り付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。

スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・ スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数および打撃数が得られます。



注

- ・ スイッチの引金を 180 秒以上引き続けると、本機は停止します。

使い方

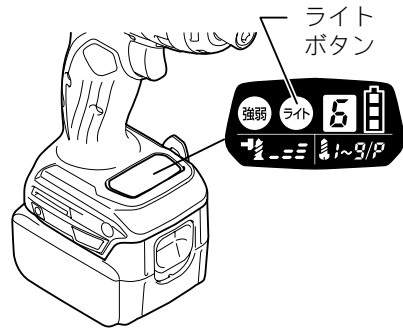
ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

- ・ 操作パネルのライトボタン(ライト)を押すごとに ON 状態と OFF 状態に切り替わります。
- ・ ON 状態のときはスイッチの引金を引くと点灯し、離すと約 10 秒で消灯します。
- ・ OFF 状態のときはスイッチの引金を引いても点灯しません。



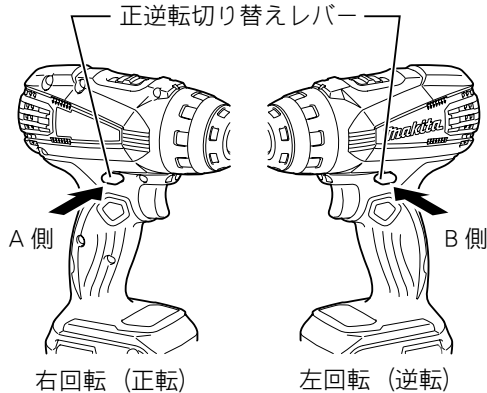
注

- ・ スイッチの引金を引き、ライトが点灯すれば ON 状態、点灯しなければ OFF 状態であることを確認できます。
- ・ スイッチの引金を引いている間は切り替えできません。
- ・ スイッチの引金を離してから 10 秒間切り替え可能です。

使い方

正逆転切り替えレバーの操作

- ・ 正逆転切り替えレバーの A 側を押すと右回転（正転）し、B 側を押すと左回転（逆転）します。
- ・ 正逆転切り替えレバーを中間の位置にすると、スイッチの引金が引けなくなります。



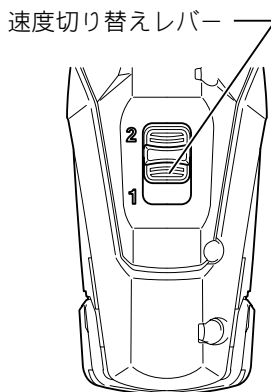
注

- ・ ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- ・ 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ・ 本機を使用しないときは、正逆転切り替えレバーを中間の位置にしておいてください。

使い方

スピードの切り替え操作

- ・ 速度切り替えレバーを1側にスライドさせると低速になり、2側にスライドさせると高速になります。
- ・ ご使用前に速度切り替えレバーが正しい位置にあることを確認し、作業に合った回転数で使用してください。
- ・ インパクトドライバモード切り替え時には、高速に切り替えて使用してください。回転数の切り替えは、操作パネル内の強弱ボタン(強弱)で行ってください。(30 ページ参照)



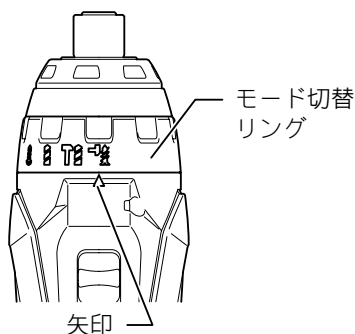
注

- ・ 速度切り替えレバーは正しい位置にセットしてください。1側と2側の間の位置で使用すると故障の原因となります。
- ・ スピードの切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ・ インパクトモード使用時は高速のみで作業できます。無理に低速への切り替えは行わないでください。

使い方

モード切り替えリングの操作

- 本機はモード切り替えリングを操作することで「インパクトドライバモード」
➤ (回転+打撃)、「震動ドリルモード」
T (回転+震動)、「ドリルモード」|| (回転のみ)、「ネジ締めモード」||| (回転+クラッチ)の切り替えができます。



- 「インパクトドライバモード」で使用するときには、モード切り替えリングのマーク ➤ を矢印にセットします。

スイッチの引金を少し引くと、操作パネル内の表示部に打撃力の強さを表す - (弱)、= (中)、≡ (強) のいずれかが表示されます。(打撃力の切り替えは、33ページの「打撃力切り替え機能」参照)

- 「震動ドリルモード」で使用するときには、モード切り替えリングのマーク T を矢印にセットします。

操作パネル内の表示部は点灯しません。





- 「ドリルモード」で使用するときには、モード切り替えリングのマーク || を矢印にセットします。操作パネル内の表示部は点灯しません。

- 「ネジ締めモード」で使用するときには、モード切り替えリングのマーク ||| を矢印にセットします。

スイッチの引金を少し引くと、操作パネル内の表示部に締め付け力の強さを表す 1 から 9 またはテクスネジ用モード P のいずれかが表示されます。(締め付け力の切り替えは 32 ページ「締め付け力切り替え操作」参照)



注

- ・ モード切り替えリングの切り替えは停止のときに行ってください。ただし、切り替えが入りにくい場合はスイッチの引金をわずかに引き、少し回転させてから切り替えてください。
- ・ モード切り替えリングは確実に切り替えてください。途中の位置で使用されますと切り替え機構の故障の原因になります。
- ・ 「ネジ締めモード」と「インパクトモード」の時、操作パネル内のランプが消えている場合はバッテリーの消耗を抑えるために、操作パネルの電源が OFF の状態です。本機が作動しない程度に少しだけスイッチの引金を引くことにより、設定を確認することができます。
- ・ 操作パネル内の表示は「ネジ締めモード」および「インパクトモード」のみに使用できます。他のモード時には表示は消えます。ただし、残容量表示ランプは全てのモードで表示されます。
- ・ 使用前にモード切り替えリングが正しい位置にあることを確認し、作業に合ったモードと回転数で使用してください。

使い方

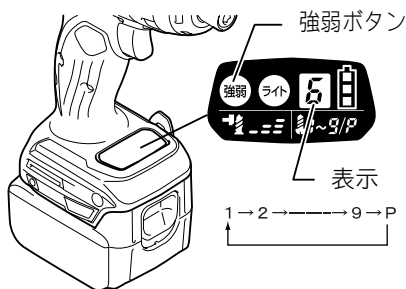
締め付け力切り替え操作（ネジ締めモードのみ）

- 締め付け力を変えるときは、強弱ボタン

（**強弱**）を押してください。締め付け力は 1、2、…、9、P の順に切り替わります。

P からは 1 へ戻ります。

- 強弱ボタンを長く押しますと、1、2、…、9、P を繰り返します。
- 作業前に実際にお試しの上ご使用ください。
- 締め付け力は 1、2、…、9 の順に強くなります。
- P：（プラスモード）テクス用ネジの締め付けに適した回転数となっています。
- 高速（2）時の P（プラスモード）ではネジ径 4mm、総板厚 t3.2 までの条件でご使用ください。
- 低速（1）時の P（プラスモード）ではネジ径 4、5mm の作業でご使用ください。
- 締め付け力の切り替えは低い数値から徐々に高くしてください。そして作業時には本機をしっかりと保持してください。



⚠ 注意

P（プラスモード）は機械ネジの締め付けには使用しないでください。

- 着座時に本機がふられ、けがの原因になります。

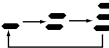
ネジ締めモードでバッテリー残容量が少なくなると、締め付け完了時に**ライトが数回点滅します**。このような場合は、バッテリーを充電してください。作業前には必ず設定の数値を確認してください。もし数値が表示されていない場合は故障が考えられますので、お買い上げの販売店もしくは当社営業所に修理をお申し付けください。

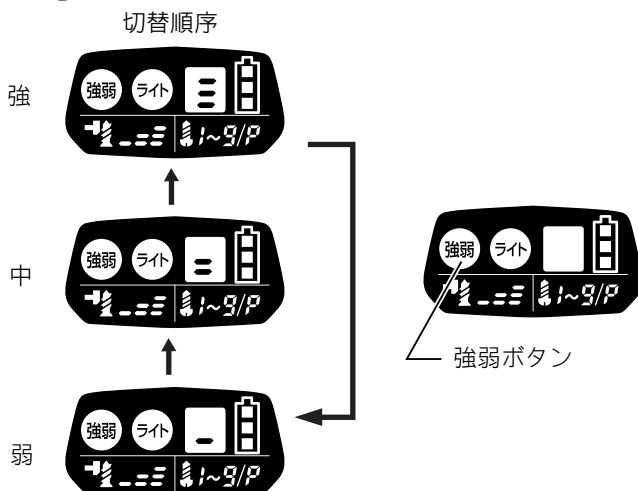
注




- スイッチの引金を引いている間は締め付け力の切り替えできません。
- スイッチの引金を離してから約 1 分間切り替え可能です。

使い方

打撃力切り替え機能（インパクトモード時のみ）

- ・ 本機は打撃力を弱、中、強の3段階に切り替えることができます。
- ・ 作業に応じた締め付け力に調整することができます。
- ・ 操作パネルの強弱ボタン（強弱）を押すごとに打撃数が3段階に切り替わります。
- ・ スイッチの引金を離してから約1分間切り替え可能です。
- ・ 強弱ボタン（強弱）を長く押し続けると、を繰り返します。



打撃力表示	最大打撃数		用途	使用例
	TP131D	TP141D		
	3,200 min ⁻¹ (回 / 分)	3,200 min ⁻¹ (回 / 分)	締め付け時にパワーやスピードを優先したい作業	下地材のネジ締め 長ネジの締め付け ボルトの締め付け
	2,400 min ⁻¹ (回 / 分)	2,400 min ⁻¹ (回 / 分)	締め付け時に仕上がりを重視する必要がある作業	仕上げ材のネジ締め 石こうボードのネジ締め
	1,200 min ⁻¹ (回 / 分)	1,200 min ⁻¹ (回 / 分)	締めすぎると雌ネジがつぶれたり、ネジ折れやネジ頭が飛んだりするため、力を抑えて行う必要がある作業	サッシネジの締め付け M6 程度の小ネジの締め付け

使い方

バッテリー切れお知らせ表示

- ・ バッテリー残容量はスイッチの引金を引いたときに残容量表示ランプでお知らせします。



残容量表示ランプの点灯状態とバッテリー残容量は以下のようになっています。

点灯状態	バッテリーの残容量
	残容量約 50%以上
	残容量約 20%～ 50%
	残容量約 20%未満

注

- ・ 操作パネル内のすべてのランプが消えている場合は、バッテリーの消耗を抑えるために、電源が OFF の状態です。本機が作動しない程度に少だけスイッチの引金を引くことにより、バッテリー残容量を確認することができます。
- ・ スwitchの引金を離してから約 1 分後に操作パネル内のすべてのランプが消えます。
- ・ 本機が熱くなりますと、ライトが 1 秒に 1 回点滅し続け約 1 分後操作パネル内の表示が消えるのと同時にライトの点滅も消えます。その場合は本機を十分冷却した後使用してください。



使い方

インパクトドライバとして使用する場合

作業方法

⚠ 警告

インパクトモードに切り替えた際は、木ネジの締め付けを行うことにより、打撃することを必ず確認してください。モードが正しく切り替わっていないと、不意に本機が振り回されてけがをする恐れがあります。

- ・ 木ネジやボルトを締め付ける場合は、モード切り替えリングを  マークの位置にしてください。
- ・ インパクトモード時には、速度切替レバーでの回転数の変更はできません。高速 (2) に切り替えて使用してください。回転数の変更は操作パネルの強弱ボタン  で行ってください。

ネジの締め付け

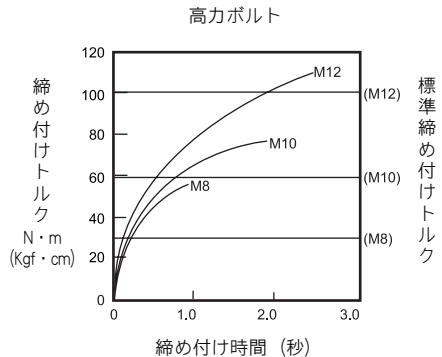
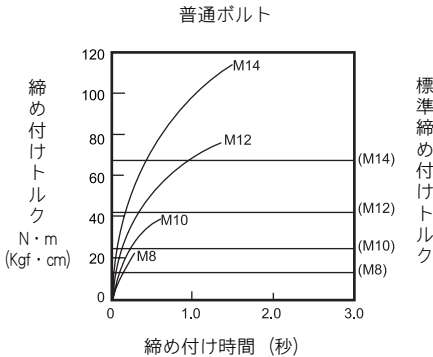
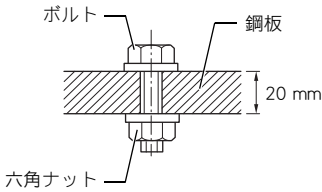
- ・ ビットをネジの頭部の溝にあてて、スイッチの引金を徐々に引いてネジの頭部からビットがはずれない程度の力で押しつけてください。

ボルトの締め付け

- ・ ボルトの適正締め付けトルクは、ボルトの材質・サイズ・締め付ける場所の材質などによって異なります。

使い方

- ネジの締め付けトルクと締め付け時間の関係は下図のようになっています。これらを参考にして適正な締め付け時間を選んでください。



※スイッチの引金を最大に引き込むまでの時間を含んだ値です。

ボルトは下記を使用しています。

普通ボルト：強度区分 4.8 高力ボルト：強度区分 10.9

強度区分の説明

4.8

↓ ↘ ボルトの降伏点 (引張強さの 80%) 314 N/mm² (32 kgf/mm²)

ボルトの引張強さ 392 N/mm² (40 kgf/mm²)

注

- M8 以下のネジの場合、打撃力の切り替えまたはスイッチの引金の引き加減を調整して締め付けてください。事前に締め付け時間と締め付け力を確認してください。
- ネジに対して本機をまっすぐ持ってください。
- 締め付け時間が長過ぎますと、ネジが伸びたり、折損したりすることがあります。また、ビット等工具類の寿命も短くなります。必ず実作業の前に試しに何本か締め付けて適切な締め付け時間を把握してください。

使い方

- ・ ネジは下記の要因により締め付けトルクが変わってきますので、締め付けネジが適正締め付けトルクになっているか、トルクレンチなどで必ず確認してください。
- 1. 電圧**
 - ・ バッテリの残容量が少なくなると電圧が低下し、締め付けトルクは低下します。
 - 2. ビット・ソケットビット**
 - ・ サイズに合ったビット（ソケットビット）を使用しないと、締め付けトルクは低下します。
 - 3. ボルト**
 - ・ 径の異なるボルトでは、トルク係数（ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示）、等級が同じでも締め付けトルクは異なります。
 - ・ 同じ径のボルトでもトルク係数、等級、長さによって締め付けトルクは変化します。
 - 4. その他**
 - ・ 締め付け場所により締め付けトルクは変動します。
 - ・ 本機の持ち方により締め付けトルクは変動します。
 - ・ スイッチの引金を引き込みきらない状態で使用しますと、締め付けトルクは低下します。



使い方

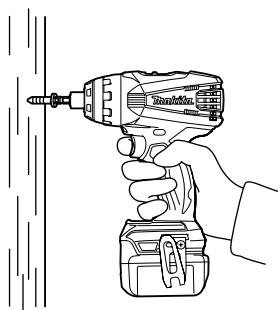
ドライバ（ネジ締めモード）として使用する場合 ネジの締め付け

⚠ 警告

ネジの着座時には、本機に大きな力がかかり振り回される恐れがありますので、本機をしっかり保持して作業してください。

・ 確実に保持していないとけがの原因になります。

- ・ 小さな木ネジや小ネジを締め付ける場合は、モード切り替えリングを  マークの位置にしてください。締め付け力は強弱ボタン  を締め付け作業に応じた数値に合わせてください。
- ・ ビットをネジの頭部の溝にあて、スイッチの引金を徐々に引いてネジの頭部がビットからはずれない程度の力で押しつけてください。
- ・ 本機は電子クラッチを採用しています。クラッチ作動後自動的に動作が止まります。続けて作業するときは、いったんスイッチの引金を離してから行ってください。



注

- ・ 一度締め付けたネジを再度さらに締め付ける場合は、本機に大きな力がかかり振り回される恐れがありますので、本機をしっかり保持して作業してください。

使い方

注

- ・ 締め付けるネジに対して本機をまっすぐに保持してください。本機が斜めになると、ネジの頭部およびピットを傷めることがあります。
- ・ 木ネジを締め付けるときは、木ネジの径よりも少し細いキリで、下穴をあけておくと材料が割れたりせず、らくに締め付けることができます。(木ネジの呼び径と下穴径は表に合わせて選んでください。)

木ネジ呼び径	下穴径 (mm)
3.1	2.0 ~ 2.2
3.5	2.2 ~ 2.5
3.8	2.5 ~ 2.8
4.5	2.9 ~ 3.2
4.8	3.1 ~ 3.4
5.1	3.3 ~ 3.6
5.5	3.6 ~ 3.9
5.8	4.0 ~ 4.2
6.1	4.2 ~ 4.4

締め付けトルク選定の目安

注

- ・ 締め付けトルクは締め付け材料、ビット、ネジ等の状態により大きく変わってきますので必ず事前に確認し、作業を行ってください。

操作パネルの表示	締め付けトルク	
	低速 (1)	高速 (2)
1	約 1.5 N・m (15.3 kgf・cm)	約 0.7 N・m (7.1 kgf・cm)
3	約 3.3 N・m (33.7 kgf・cm)	約 1.2 N・m (12.2 kgf・cm)
5	約 6.3 N・m (64.2 kgf・cm)	約 2.2 N・m (22.4 kgf・cm)
7	約 9.4 N・m (95.9 kgf・cm)	約 3.1 N・m (31.6 kgf・cm)
9	約 12.0 N・m (122.4 kgf・cm)	約 4.0 N・m (40.8 kgf・cm)

(機械ネジを締め付けた場合の参考値)

使い方

ドリルとして使用する場合


穴あけ

⚠ 警告

穴の抜けぎわは、キリが折れたり、本機に大きな力がかかり振り回される恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

・ けがの原因になります。

キリを逆転させて抜くときは本機が振り回される恐れがありますので本機をしっかり保持してからスイッチを入れてください。

- ・ 確実に保持していないと、けがの原因となります。
- ・ 金属や木材に穴をあける場合は、モード切り替えリングを  マークの位置にしてください。速度切り替えレバーが1の時は低速・2の時は高速です。ご使用前にモード切り替えリングが正しい位置にあることを確認し、作業にあった回転数で使用してください。
- ・ 金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミをつくり、そのクボミにキリの先をあてがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。
- ・ 金属の穴あけ時には、キリに油（マシン油など）をつけて作業してください。
- ・ モータがロックした状態でスイッチ操作を繰り返さないでください。モータ等故障の原因になります。

注

穴あけ能力について

- ・ キリ径に合った回転数で作業してください。なお、大径の穴あけは低速にてご使用ください。

	最大穴あけ能力
高速 (2)	鉄工 Φ 6.5 mm 木工 Φ 12 mm
低速 (1)	鉄工 Φ 10 mm 木工 Φ 21 mm

使い方

震動ドリルとして使用する場合

- ・ コンクリートやタイルなどに穴をあける場合は、モード切り替えリングを **T**マークの位置にしてください。ドリルは超硬ドリルを使用してください。
- ・ 穴の位置決めは低速回転で作業すれば、正確な位置に穴あけができます。
- ・ 深い穴で粉じんが詰まるときは、超硬ドリルを回転させながら 2～3 回穴より出し入れさせて粉じんを排出してください。

注

- ・ 本機を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業効率が低下するばかりでなく、1回の充電での使用時間が短くなります。

使い方

1回の充電での作業量

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 締め付ける場所の材質などにより異なります。
- ・ スイッチの引金を最大に引き込んだ状態での値です。

TP131D

モード	ネジ・ドリルの種類	サイズ	締め付け本数			材料
			バッテリー BL1430	バッテリー BL1440	バッテリー BL1450	
インパクトモード	木ネジ	コーススレッド φ4.3 × 65 mm	約 230 本	約 310 本	約 380 本	ラワン
ドリルモード (高速)	鉄工用ドリル	φ3	約 640 本	約 860 本	約 1,060 本	冷間圧延鋼板 (1.6 mm 厚)
ドリルモード (低速)	木工用ドリル	φ21	約 220 本	約 300 本	約 360 本	ラワン (30 mm)
震動ドリルモード (高速)	超硬ドリル	φ5	約 170 本	約 230 本	約 280 本	モルタル (深さ 30 mm)
ネジ締めモード 表示：P (高速)	テクス用ネジ	4 mm	約 260 本	約 350 本	約 430 本	C 形チャンネル 2.3 mm 厚 + 冷間圧延鋼板 0.8 mm 厚

使い方

TP141D

モード	ネジ・ドリルの種類	サイズ	締め付け本数			材料
			バッテリー BL1830	バッテリー BL1840	バッテリー BL1850	
インパクトモード	木ネジ	コーススレッド φ4.3 × 65 mm	約 320 本	約 430 本	約 540 本	ラワン
ドリルモード (高速)	鉄工用ドリル	φ3	約 850 本	約 1,150 本	約 1,440 本	冷間圧延鋼板 (1.6 mm 厚)
ドリルモード (低速)	木工用ドリル	φ21	約 350 本	約 470 本	約 590 本	ラワン (30 mm)
震動ドリルモード (高速)	超硬ドリル	φ5	約 230 本	約 310 本	約 390 本	モルタル (深さ 30 mm)
ネジ締めモード 表示:P (高速)	テクス用ネジ	4 mm	約 370 本	約 500 本	約 630 本	C 形チャンネル 2.3 mm 厚 + 冷間圧延鋼板 0.8 mm 厚

注

- ・ 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本機を 15 分以上休止させてください。

⚠ 警告

- 点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882718A3

IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)